2025年３月期　決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名　　アシードホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　9959　　URL　https://www.aseed-hd.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）河本 大輔
問合せ先責任者　（役職名）取締役常務執行役員経営企画グループ　（氏名）大戸 章浩　　TEL　084-923-5552

定時株主総会開催予定日　2025年6月25日　　配当支払開始予定日　2025年6月26日
有価証券報告書提出予定日　2025年6月24日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期の連結業績（2024年４月１日～2025年３月31日）

(1)連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	23,969	3.0	765	△0.2	1,093	5.4	748	△2.6
2024年3月期	23,260	9.6	767	13.6	1,038	12.0	768	27.6

（注）包括利益　2025年3月期　800百万円（△12.0%）　2024年3月期　910百万円（35.6%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	60.86	―	10.8	5.7	3.2
2024年3月期	62.67	―	12.5	5.8	3.3

（参考）持分法投資損益　2025年3月期　248百万円　2024年3月期　199百万円

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	19,655	7,223	36.7	586.84
2024年3月期	18,928	6,630	35.0	539.66

（参考）自己資本　2025年3月期　7,223百万円　2024年3月期　6,630百万円

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	838	△828	192	1,772
2024年3月期	1,690	△988	△206	1,570

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	－	8.00	－	9.00	17.00	192	27.1	3.3
2025年3月期	－	9.00	－	9.00	18.00	221	29.6	3.2
2026年3月期（予想）	－	10.00	－	10.00	20.00		29.3	

３．2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	8.5	1,000	30.6	1,300	18.9	840	12.2	68.29

※　注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

新規　-社　（社名）、除外　-社　（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

(注)詳細は、添付資料P12「３．連結財務諸表及び主な注記（５）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	13,495,248株	2024年3月期	13,495,248株
②　期末自己株式数	2025年3月期	1,186,818株	2024年3月期	1,209,618株
③　期中平均株式数	2025年3月期	12,301,246株	2024年3月期	12,264,197株

（参考）個別業績の概要

１．2025年3月期の個別業績（2024年４月１日～2025年３月31日）

（１）個別経営成績　（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年３月期	883	8.7	215	2.6	330	△3.5	290	△23.9
2024年３月期	813	11.4	209	26.9	342	100.4	381	145.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年３月期	23.61	―
2024年３月期	31.11	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年３月期	11,008	4,017	36.5	326.37
2024年３月期	10,360	3,922	37.9	319.28

（参考）自己資本　2025年3月期　4,017百万円　2024年3月期　3,922百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではございません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「１．経営成績の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 3
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）連結貸借対照表 …… 4
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 6
連結損益計算書 …… 6
連結包括利益計算書 …… 7
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 8
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 12
（会計方針の変更に関する注記） …… 12
（セグメント情報等の注記） …… 12
（１株当たり情報） …… 15
（重要な後発事象） …… 15
（企業結合等関係） …… 15

１．経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に個人消費が堅調に推移し、企業の設備投資に持ち直しの動きが見られたことなどにより、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方で、アメリカの関税政策の世界経済への影響、収束の見えないウクライナ、ガザの情勢等先行きの不透明感は以前よりも増しており、不確実性は一層高まっています。

この環境下において、当社グループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 ― すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて、ブランド創造企業への挑戦を最優先課題とすると同時に、既存事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化と諸施策を中心として成長の加速に取り組んでいます。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高23,969百万円（前期比3.0%増）、営業利益765百万円（同0.2%減）、経常利益1,093百万円（同5.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益748百万円（同2.6%減）となりました。

なお、当連結会計年度より、「３．連結財務諸表及び主な注記（５）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」の「３．報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、「自販機運営リテイル事業」に含まれていたアシード㈱の飲料ウェルネス事業の区分を、「飲料製造事業」へ変更しております。前期の値については変更後の区分で組み替えた数値を記載しております。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

（自販機運営リテイル事業）

自販機運営リテイル事業におきましては、自販機での小売価格の値上げや設置条件の改定を実施し、利益率の改善を進めました。売価改定により販売数量が伸び悩む中、ルートの再編による業務の効率化を図り収益性の向上に努めております。また、消費者の求める利便性に応えるべく、新札対応のための機材の切替、キャッシュレス対応を進めました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は13,614百万円（前期比1.4%増）、セグメント利益は240百万円（同23.1%増）となりました。

（飲料製造事業）

飲料製造事業におきましては、上半期は再編に伴う製造の停止や低アルコール飲料の製造数量が伸び悩んだことにより業績は低調に推移いたしました。しかしながら例年閑散期となる冬季においてアシードブリュー㈱のソフトパウチ飲料の製造数量が大幅に増加した事や、静岡ローストシステム㈱の茶葉加工が堅調に推移した事により、セグメント損益は通期で減益となったものの、業績は改善傾向となっております。

また、自社ブランド商品におきましては、㈱SEAMとのコラボレーションで開発された和食ペアリングの低アルコール飲料「**食と茶の夢**」、ストレート果汁を使用した創作カクテル「家バル」シリーズの新商品として「**家バル ハニーレモネード**」を発売するなど、当連結会計年度において新商品を７点、リニューアル商品を７点発売して自社商品のラインナップを充実させ、全国展開を目指した商品力強化に注力しました。

この結果、飲料製造事業の売上高は9,961百万円（前期比5.4%増）、セグメント利益は809百万円（同3.0%減）となりました。

（不動産運用事業）

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート㈱を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は140百万円（前期比0.3%減）、セグメント利益は218百万円（同4.8%増）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高231百万円を含めると371百万円となります。

（その他事業）

その他事業におきましては、ロジックイノベーション㈱が東西の物流部門を強化すると共に、グループ内物流の内製化を行っており、その他事業の売上高は252百万円（前期比3.4%増）、セグメント利益は35百万円（同58.5%増）となりました。一方で業績改善が不十分であったロジックイノベーション㈱の環境事業に係る設備の減損を行い102百万円の損失を計上いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産は19,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ726百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加201百万円及び投資有価証券の増加219百万円等によるものです。

（負債）

当連結会計年度末における負債は12,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円増加いたしました。これは短期借入金の増加250百万円及び長期借入金の増加427百万円等によるものです。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は7,223百万円となり、前連結会計年度末に比べ593百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する当期純利益による増加748百万円等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ201百万円増加し、当連結会計年度末には1,772百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、838百万円（前期は1,690百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益968百万円及び減価償却費795百万円等により資金を獲得する一方、持分法による投資利益248百万円及びその他負債の純減額216百万円等により資金を使用したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、828百万円（前期は988百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出898百万円等により資金を使用する一方、投資有価証券の売却による収入106百万円等により資金を獲得したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、192百万円（前期は206百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増額250百万円、長期借入による収入1,700百万円により資金を獲得する一方、長期借入金の返済による支出1,374百万円及び配当金の支払額221百万円により資金を使用したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、仕入商品や原材料・資材・燃料費の値上がりが続く中、グループ各社が得意分野を伸ばすとともに、相互のシナジー効果を高めブランド価値の創造と生産性の向上、適正な価格設定に取り組み、収益性の向上に取り組みます。

このような取組方針のもと、翌連結会計年度（2026年３月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高26,000百万円、営業利益1,000百万円、経常利益1,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益840百万円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識したうえで、事業の継続的な成長や資本効率の改善等による株主価値の向上に努めるとともに、配当性向30%程度を基準とし、業績向上に応じて増配を行う累進配当を継続していくことを基本方針としております。

当連結会計年度の期末配当金につきましては１株当たり９円を予定しております。次期の配当につきましては、中間配当及び期末配当として１株当たり10円とし、年間配当金は１株当たり20円を予定しております。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの外国人株主比率は現在0.32%であり、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び他社のIFRS採用動向を踏まえ、IFRSの適用について検討をすすめていく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2024年３月31日）	当連結会計年度 （2025年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,570	1,772
受取手形、売掛金及び契約資産	3,482	3,533
商品及び製品	957	1,017
原材料及び貯蔵品	292	337
前払費用	151	159
その他	609	686
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	7,062	7,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,117	6,294
減価償却累計額	△3,571	△3,644
建物及び構築物（純額）	2,546	2,650
機械装置及び運搬具	6,563	6,625
減価償却累計額	△3,864	△4,172
機械装置及び運搬具（純額）	2,699	2,452
工具、器具及び備品	284	292
減価償却累計額	△231	△242
工具、器具及び備品（純額）	52	49
土地	3,821	3,812
リース資産	1,266	1,193
減価償却累計額	△932	△869
リース資産（純額）	334	324
建設仮勘定	66	335
有形固定資産合計	9,520	9,626
無形固定資産		
のれん	171	131
ソフトウエア	51	49
リース資産	21	13
その他	25	28
無形固定資産合計	270	223
投資その他の資産		
投資有価証券	1,430	1,650
長期前払費用	195	148
繰延税金資産	69	115
その他	423	427
貸倒引当金	△44	△42
投資その他の資産合計	2,075	2,299
固定資産合計	11,866	12,149
資産合計	18,928	19,655

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2024年３月31日）	当連結会計年度 （2025年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,795	2,734
短期借入金	2,330	2,580
１年内返済予定の長期借入金	1,281	1,179
リース債務	143	115
未払金	768	809
未払法人税等	234	108
未払消費税等	207	188
賞与引当金	180	200
その他	938	658
流動負債合計	8,880	8,575
固定負債		
長期借入金	2,757	3,185
リース債務	238	235
再評価に係る繰延税金負債	34	35
退職給付に係る負債	148	159
その他	238	240
固定負債合計	3,418	3,856
負債合計	12,298	12,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,034	1,036
利益剰余金	5,523	6,051
自己株式	△630	△618
株主資本合計	6,726	7,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	117
土地再評価差額金	△363	△364
為替換算調整勘定	133	202
その他の包括利益累計額合計	△96	△44
純資産合計	6,630	7,223
負債純資産合計	18,928	19,655

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
売上高	23,260	23,969
売上原価	14,479	14,859
売上総利益	8,781	9,109
販売費及び一般管理費	8,014	8,344
営業利益	767	765
営業外収益		
持分法による投資利益	199	248
受取保険金	17	－
投資事業組合運用益	－	25
その他	114	145
営業外収益合計	330	419
営業外費用		
支払利息	33	40
その他	26	50
営業外費用合計	59	91
経常利益	1,038	1,093
特別利益		
固定資産売却益	68	－
投資有価証券売却益	－	54
特別利益合計	68	54
特別損失		
固定資産除却損	39	52
投資有価証券評価損	－	7
減損損失	－	119
特別損失合計	39	179
税金等調整前当期純利益	1,066	968
法人税、住民税及び事業税	331	268
法人税等調整額	△34	△48
法人税等合計	297	220
当期純利益	768	748
親会社株主に帰属する当期純利益	768	748

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
当期純利益	768	748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	△16
土地再評価差額金	－	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	39	69
その他の包括利益合計	141	51
包括利益	910	800
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	910	800

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自　2023年４月１日　至　2024年３月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	798	1,012	5,046	△900	5,957
当期変動額					
剰余金の配当			△192		△192
親会社株主に帰属する当期純利益			768		768
自己株式の処分		22		269	291
土地再評価差額金の取崩			△99		△99
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	22	476	269	768
当期末残高	798	1,034	5,523	△630	6,726

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	32	△462	93	△336	5,620
当期変動額					
剰余金の配当					△192
親会社株主に帰属する当期純利益					768
自己株式の処分					291
土地再評価差額金の取崩					△99
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	101	99	39	240	240
当期変動額合計	101	99	39	240	1,009
当期末残高	134	△363	133	△96	6,630

当連結会計年度（自　2024年４月１日　至　2025年３月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	798	1,034	5,523	△630	6,726
当期変動額					
剰余金の配当			△221		△221
親会社株主に帰属する当期純利益			748		748
自己株式の処分		2		11	13
土地再評価差額金の取崩					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	2	527	11	541
当期末残高	798	1,036	6,051	△618	7,267

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	134	△363	133	△96	6,630
当期変動額					
剰余金の配当					△221
親会社株主に帰属する当期純利益					748
自己株式の処分					13
土地再評価差額金の取崩					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△16	△1	69	51	51
当期変動額合計	△16	△1	69	51	593
当期末残高	117	△364	202	△44	7,223

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,066	968
減価償却費	797	795
減損損失	－	119
のれん償却額	22	28
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△2
賞与引当金の増減額（△は減少）	22	20
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	5	10
受取利息及び受取配当金	△12	△21
支払利息	33	40
持分法による投資損益（△は益）	△199	△248
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△54
投資事業組合運用損益（△は益）	5	△25
固定資産売却損益（△は益）	△68	－
固定資産除却損	39	52
売上債権の増減額（△は増加）	△586	△50
棚卸資産の増減額（△は増加）	△77	△104
長期前払費用の増減額（△は増加）	118	66
その他の資産の増減額（△は増加）	54	△111
仕入債務の増減額（△は減少）	308	△61
未払消費税等の増減額（△は減少）	106	△19
その他の負債の増減額（△は減少）	211	△216
その他	△2	17
小計	1,846	1,203
利息及び配当金の受取額	99	73
利息の支払額	△32	△42
法人税等の支払額	△239	△394
保険金の受取額	17	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,690	838
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	51	－
有形固定資産の取得による支出	△533	△898
有形固定資産の売却による収入	175	10
無形固定資産の取得による支出	△31	△20
固定資産の除却による支出	－	△16
投資有価証券の取得による支出	△0	△50
投資有価証券の払戻による収入	54	－
投資有価証券の売却による収入	－	106
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△655	－
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△49	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△988	△828

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△580	250
長期借入れによる収入	1,800	1,700
長期借入金の返済による支出	△1,009	△1,374
リース債務の返済による支出	△224	△161
配当金の支払額	△192	△221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206	192
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	502	201
現金及び現金同等物の期首残高	1,067	1,570
現金及び現金同等物の期末残高	1,570	1,772

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日 企業会計基準委員会）等を当連結会計年度の期首から適用しております。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自販機運営と飲料製造を中心とした複数の事業を営んでおり、その事業区分ごとに当社及び当社の連結子会社が単一もしくは複数の事業に従事する事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「自販機運営リテイル事業」、「飲料製造事業」、「不動産賃貸事業」及び「その他事業」の４つを報告セグメントとしております。

なお、それぞれの報告セグメントに含まれる主要な製品・商品及びサービスは以下のとおりであります。

(1) 自販機運営リテイル事業　：カップ飲料、缶・ボトル飲料、紙パック飲料、食品等の自動販売
(2) 飲料製造事業　：清涼飲料、ソフトパウチ飲料、低アルコール飲料、茶葉等の製造・販売
(3) 不動産運用事業　：不動産賃貸
(4) その他事業　：倉庫、物流、環境

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

2024年10月１日付の組織再編を踏まえ、当連結会計年度より「自販機運営リテイル事業」に含まれていたアシード㈱の飲料ウェルネス事業の区分を、「飲料製造事業」へ変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法に基づき作成したものを記載しております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自　2023年４月１日　至　2024年３月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	連結財務諸表計上額（注）２
	自販機運営リテイル事業	飲料製造事業	不動産運用事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,425	9,449	141	243	23,260	－	23,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	135	219	69	426	△426	－
計	13,428	9,584	360	313	23,687	△426	23,260
セグメント利益	195	834	208	22	1,259	△492	767
セグメント資産	3,547	10,865	1,801	1,042	17,257	1,671	18,928
その他の項目							
減価償却費	97	613	10	53	775	22	797
のれんの償却額	3	15	－	3	22	－	22
減損損失	－	－	－	－	－	－	－
持分法適用会社への投資額	－	839	－	－	839	－	839
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	59	544	6	1	612	25	638

（注）１．調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△426百万円は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△492百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(3) セグメント資産の調整額1,671百万円は、各セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、余剰運転資金（預金及び有価証券）及び管理部門にかかる資産等であります。

(4) 減価償却費の調整額22百万円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額25百万円は、各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

２．セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自　2024年４月１日　至　2025年３月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	連結財務諸表計上額（注）２
	自販機運営リテイル事業	飲料製造事業	不動産運用事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,614	9,961	140	252	23,969	－	23,969
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	133	231	112	480	△480	－
計	13,618	10,094	371	365	24,450	△480	23,969
セグメント利益	240	809	218	35	1,303	△537	765
セグメント資産	3,830	11,458	1,823	894	18,007	1,647	19,655
その他の項目							
減価償却費	70	642	10	53	776	18	795
のれんの償却額	7	17	－	3	28	－	28
減損損失	16	－	－	102	119	－	119
持分法適用会社への投資額	－	1,105	－	－	1,105	－	1,105
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	249	732	－	0	982	66	1,048

（注）１．調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△480百万円は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△537百万円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(3) セグメント資産の調整額1,647百万円は、各セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、余剰運転資金（預金及び有価証券）及び管理部門にかかる資産等であります。

(4) 減価償却費の調整額18百万円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額66百万円は、各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

２．セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
１株当たり純資産額	539.66円	586.93円
１株当たり当期純利益	62.67円	60.86円

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	768	748
普通株主に帰属しない金額（百万円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	768	748
普通株式の期中平均株式数（千株）	12,264	12,301

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

（共通支配下の取引等）

（連結子会社間の機能別再編）

⑴企業結合の概要

①対象となった事業

アシードブリュー㈱が行う飲料の製造及び販売

宝積飲料㈱が行う飲料の製造及び販売

②企業結合を行った主な目的

販売部門の一本化による営業力の強化及び製造部門の一本化による機能の統一化を目的としております。

③企業結合日

2024年10月１日

④企業結合の法的形式

アシードブリュー㈱を承継会社とし、宝積飲料㈱の販売部門を吸収分割

宝積飲料㈱を承継会社とし、アシードブリュー㈱の製造部門を吸収分割

⑤結合後企業の名称

アシードビバレッジプラス㈱（吸収分割後、アシードブリュー㈱から商号変更）

アシードブリュー㈱（吸収分割後、宝積飲料㈱から商号変更）

⑵実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年１月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年１月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。